平成 23 年度 継続事務事業評価シート　事業類型 Ⅰ ソフト事業　2次評価対象

	コード	名称	区分	コード	名称
事業名	547	青山ふれあいフェスタ開催事業	会計	01	一般会計
			款	06	農林業費
			項	01	農業費
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	目	03	農業振興費
			細目	287	農業振興経費
行革大綱の重点事項番号			細々目	52	青山ふれあいフェスタ開催事業

担当部課	コード	750100	担当者氏名	中山　良憲	連絡先	52 － 1114 (内線)
	名称	青山支所　振興課				

事務事業の概要（Plan）

対象（誰を、何を）	農家、林家、農林業関係団体、商工業事業所・関係団体	※対象件数
成果（どうする）	農林産物をはじめ商工業関係事業所等のPR,製品等の販売の場の提供ができます。	
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付金規則	
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

H22 事業内容
ふれあいフェスタin青山実行委員会へ補助
開催　平成22年10月30日
場所　青山ハーモニー･フォレスト
（台風13号接近のため中止）
事前準備を行った。

社会情勢の変化等：特になし

整備内容（「施設の建設」「整備事業」のみ記入）

1 建設用地	
2 建設面積（延床面積）	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制（「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入）

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト（Do）

活動指標

指標名	単位	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	H24 目標値
入場者数（スタッフ等関係者を除く）		目標 3200 / 実績 3500	目標 3300 / 実績 0	3300	3300
出店ブース数		目標 45 / 実績 41	目標 45 / 実績 37（予定）	45	45

成果指標

指標名	指標設定の考え方	単位	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	H24 目標値
入場者数（スタッフ等関係者を除く）	宣伝・PRがどれだけできたか測れます。	人	目標 3200 / 実績 3500	目標 3300 / 実績 0	3300	3300
出店ブース数	どれだけの個人等が関わったかを測ることが地域振興の寄与の目安になります。	件	目標 45 / 実績 41	目標 45 / 実績 37(予定)	45	45

投入コスト

	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
直接事業費計（A）（千円）	1,487	758	1,287	1,287
Aの財源内訳　国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,487	758	1,287	1,287
事業投入人件費（B）	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440
フルコスト(A)＋(B)	2,927	2,198	2,727	2,727

事務事業の評価（Check）

	判断の基準（該当項目に○をつけてください）		備考欄（特記事項）
必要性	法律（条例は除く）で実施が義務付けられている事業		
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティネット）を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第３者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高		
	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達成度	当初設定した計画を 60%未満 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		【計画に遅れが生じている場合、改善策】 台風接近のため中止となったが開催の準備を進めていた。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	H22から市内全域に開催ポスター・チラシ等で周知する。内容に工夫を凝らし来場者に楽しんでもらう。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 実行委員会で地域の特性を出せるような計画を立てた、開催のポスター・チラシ等の周知も伊賀市南部を重点に行い準備をすすめていたが台風接近のため中止となった。

今後の方向性（Action）

担当課長氏名	藤原　四郎
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 年々補助金額が減少しているが集客数がほぼ一定である。今後も内容等検討し継続する。
現時点における課題、その他	会場が青山ハーモニー・フォレストであり、駐車場がなくシャトルバスで対応している。青山地区外の市民を呼び寄せることを考えたい。
課題、その他に対する改善策（いつまでに、何を、どうする）	青山ハーモニー・フォレスト（ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ等施設）の存在をポスターの掲示、パンフレットの配布ホームページの開設等でPRする。